

報 告

近畿病院図書室協議会第128回研修会

「図書館を飛び出して図書館を見に行こう」

研修部

日 時：2012年11月29日(火) 8:45～17:30
見学先：株式会社トーハン大阪支店、国立国会図書館関西館、天理大学附属天理図書館
参加者数：11名

待ち合わせ場所は大阪駅前第一ビルの西側で、観光バスを待機させた。先に着いた研修部員でお菓子を袋に小分けし、ぼつぼつとバスに乗り込む参加者に配る。子供のころの遠足のように、本当に駄菓子ばかりが詰まっている。心配していた天気も問題なく、また集合場所に一人も遅れることなく、バスは最初の目的地のトーハン大阪支店に向かって動き出した。

トーハンはすでに流通の拠点を桶川SCMセンターに移しており、今ではごく一部の図書しか扱わなくなっているとのことである。それでもその建物の規模と使い古された感じに往時の賑わいが目に見えるような気がした。現在でもかなりの図書がフロアにあり、同じ図書が大量にあったり、積み方も流通のためとあって図書館とは違い、とにかく図書に囲まれて普段過ごしている図書館員も、図書がいっぱいという光景に圧倒された。

国立国会図書館関西館は設備と規模ではまぎれもなく国内最高レベルの図書館である。書庫に入れていただいたが、とにかく部屋の広さに初めて来た参加者は文字通り目を丸くしていた。

しかも将来のために近隣の土地もすでに取得済みとのことで、図書の保管に必要な空間に思いをはせると、本当にくらくらする。

天理大学附属天理図書館は貴重な資料をたくさん所蔵しており、こちらも実は日本有数の図書館である。書庫の中に入れていただき、館内では古いうちには入らないという江戸時代の和装本を実際に手にとっては会員同士話に花が咲いていた。途中貴重書庫の扉が開いていて、中を垣間見ることができたが、実はあれはたまたまではなく、天理図書館さんがとてもサービス精神旺盛なのだと私は思っている。常設展示も見せていただいたが、こちらも解体新書など貴重な資料が満載であった。

途中奈良で、もともとは呉服屋さんだったところで昼食をとり、ならまちを散策するなど、会員同士親睦を深めることができた。天気や交通渋滞にやきもきもしたが、いろいろな意味で突出した施設や図書を前にして目を輝かせていた参加者を見て、本当に開催者冥利につきた。一年限りの研修部長だったが、研修部の楽しさを知った一日だった。

研修に際してお世話になった見学先のみなさま、バス会社のみなさま、参加してくださった会員のみなさま、それから研修部のみなさまに心からお礼申し上げます。

(文責：増田 徹/藍野大学)